



～ 人にやさしく走る街 ～

深大寺通り交通社会実験 終了のお知らせ

平成22年12月3日

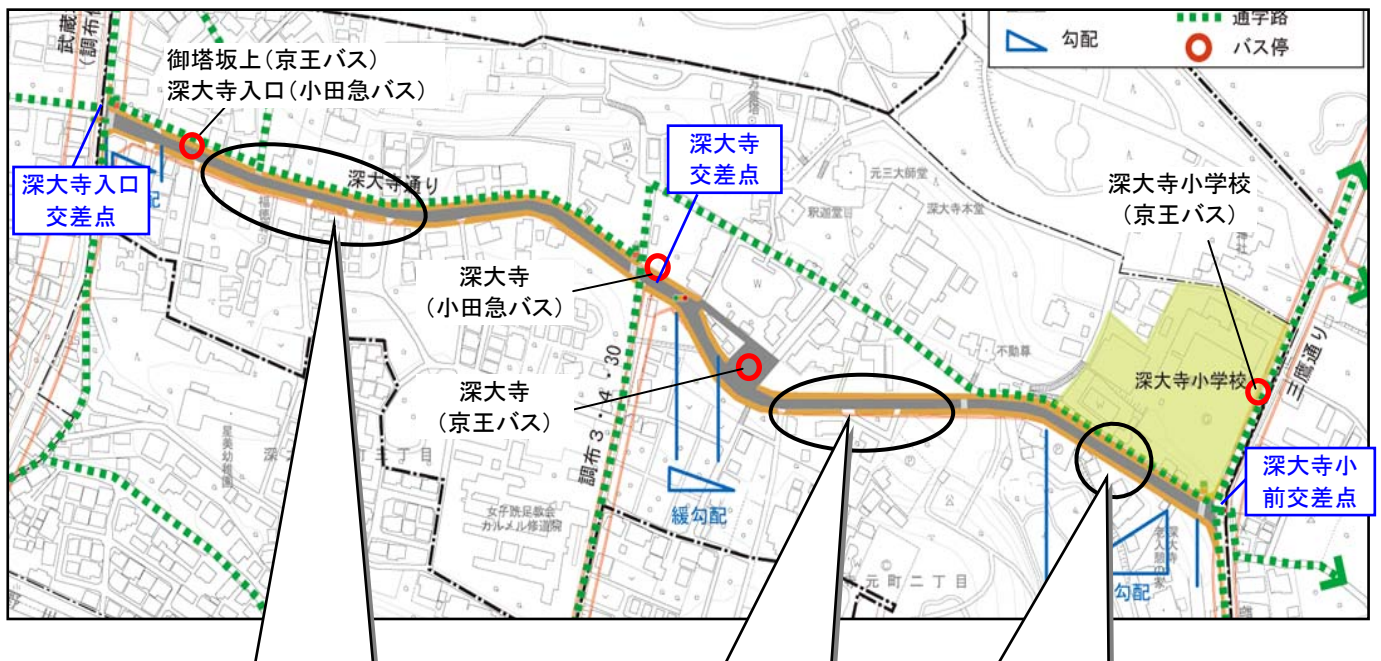
●●● 交通社会実験が終了しました

平成22年11月8日(月)から開始しました「～人にやさしく走る街～ 深大寺通り交通社会実験」は、皆様のご協力により、11月28日(日)をもって終了いたしました。

●●● 一部のイメージハンプを残しています

実験のため深大寺通りに設置していた3種類のイメージハンプについては、実験終了後にすべて撤去する予定でしたが、深大寺通り街づくり協議会からの要望と、沿道にお住まいの方々の御理解をいただくことにより、当面の間2種類のイメージハンプを残し、引き続きその効果を検証していくこととなりました。

今後は、地元の方々の御意見を伺い、関係機関等との調整を行いながら、2種類のイメージハンプの最終的な取扱いについて検討を行ってまいります。



【イメージハンプ】車道脇の白い点線



《当面の間 残しています》

【イメージハンプ】赤い縞模様



《29日(月)に撤去しました》

【イメージハンプ】だまし絵状の矢印



《当面の間 残しています》

●●● “ドライバーへの働きかけ実験”を行いました

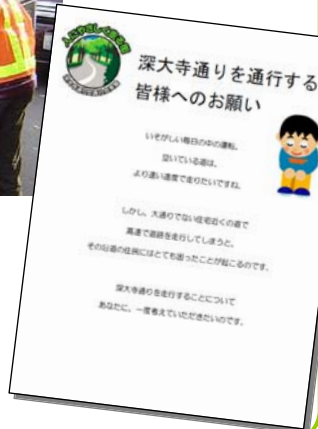
交通社会実験期間中の11月24日(水)・25日(木)には、規制速度30kmを超過しているドライバーが自発的に速度を抑えるよう、直接働きかける実験を実施いたしました。実施にあたっては、埼玉大学工学部建設工学科 設計計画研究室のご協力をいただきました。

歩行者・自転車利用者がこうむっている危険な思いを、直接ドライバーに伝えるよう働きかけました。2日間で約350名の方がお願い文を受け取られました。



実験スタッフがドライバーに配布物を手渡し

配布物の一部→



ドライバーが実際に出している速度を直接ドライバーに提示しました。



スピードガンで速度を計測



下流側

上流側

●●● アンケート調査を実施します

3週間にわたり実施した交通社会実験の効果を検証するため、深大寺通り周辺の住民の方々などに、今後、アンケート調査を実施してまいります。調査票がお手元に届きました場合は、ぜひご協力をお願いいたします。

●●● 交通社会実験の評価結果を公表していきます

アンケート調査の結果とともに、交通社会実験の前と実験中で実施した交通量調査や走行速度調査の結果をとりまとめます。これらの結果を踏まえて効果の検証を行い、実験についての評価を実施してまいります。

評価結果については、平成23年2月頃に予定している第4回深大寺通り交通社会実験実施準備会で検討し、市民の皆様にご公表していく予定です。



【実施主体】調布市・深大寺通り街づくり協議会

【お問い合わせ】調布市 都市整備部 都市計画課 地域支援係

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1 電話：042-481-7444 (直通)